

彩の歳時記

平成二十六年 三月

ひさかたの光のどけき春の日に しず心なく花の散るらん 紀友則

「こんなにもどかな春の日に、どうして桜の花だけが落ち着いた気持ちもなく、慌ただしく散ってしまうのだろうか」

「雪・雪」に見舞われた実質的には最も寒い二月が過ぎると、**光の春「三月」**。心も身体も、暖かい季節への期待に膨らみます。年度末、区切りの季節。

それぞれが、新しい何かに向かって準備を始めているようです。幾つになっても**「光の春」**の中で、新しい自分を見つけ、自身が**発光体**となってみたいものです。



三月の異称

弥生 弥はいよいよ・ますますの意。草木がますます生まれる月。花月・桜月・桃月。

濃(こまやかに) 弥生の雲の 流れたり

漱石

三月の暦

三日 **上巳(じょうし)の節供(桃の節供・雛祭り)** 元は五節句の一つで**三月上旬の巳**の日。

古来中国の風習「川で身を清め不浄を祓う」が平安時代に伝来、日本では小さな紙人形(形代・かたしろ)に穢(けが)れを移し川や海に流す「**流し雛**」に。雛壇飾りは、貴族の子女らが天皇の御殿の装飾を模して遊んだことに由来。



六日 **啓蟄(けいちつ)【二十四節気】**土の中で縮こまっていた**虫(蟄)**が穴を開いて(啓いて)動き出す日。

十日 **東京都平和の日** 1945年昭和20年) 東京大空襲で死者約10万人、焼失家屋約27万戸。第二次大戦で最大級の被害を出した。平和について考える日として1990年に制定。

十一日 **東日本大震災の日** 2011年(平成23年)の**2時46分**、**日本観測史上最大の地震**が発生、死者・行方不明者はあわせて19000人以上、建物は全壊・半壊あわせて38万戸以上。福島第一原子力発電所のメルトダウン(燃料事故)が発生。これを受けて現在、日本国内の原子力発電所は稼働していない。

十二日 **お水取り** 1250年以上途絶えることなく伝承される仏教行事、奈良東大寺**修二会**。僧たちが観音菩薩に懺悔し除災招福を祈る練行。密教や修験道、神道、民俗の要素まで取り入れた稀有な大法会。勇壮なお松明(たいまつ)で知られる。厄除けの火の粉を浴びる人々で賑わう。

十四日 **ホワイトデー** 1978年に**バレンタインデーのアンサーデー**として制定。**砂糖の白に由来**。

十八日 **彼岸の入り(明けは二十四日)**太陽が真東から昇り、真西に沈むこの日は、**彼岸(あの世)**と**此岸(この世)**がもつとも近くなると言われ、墓参りをする。春に咲く**牡丹**に因み「**ぼた餅**」で供養。

二十一日 **春分の日【二十四節気】** **春彼岸**の中の日。

二十九日 **風信子忌** 詩人**建築家、立原道造【1914~1939】**の忌日。



夢みたものは ひとつの幸福
ねがったものは ひとつの愛
山なみのあらにも
しずかな村がある
明るい日曜日の青い空がある

今年**は生誕百年**。ギリシャ神話の**ヒアシンス**伝説に心を寄せたことによる。中原中也賞受賞。叙情的で優しい詩はコーラス曲に用いられるなど、現在も人気が高い。辰野金吾賞を三年連続受賞など建築家としても期待されたが24歳で夭折。彼が構想した**凶面に基づき2004年に「ヒアシンスハウス」**がさいたま市別所沼公園に竣工した。

三月の歌

春が来た 1910(明治43)年『尋常小学読本唱歌』



作詞作曲は「故郷」「春の小川」「朧月夜」「紅葉」などで知られる**岡野貞一**、**高野辰之**のコンビ。結婚式で用いられる『トランペット・ヴォランタリー』や「モーツァルトの交響曲第23番・第23楽章」など類似のメロディがクラシック曲に多数存在するといわれる。2007年の日本の歌百選に。

春が来た 春が来た
どこに来た
山に来た 里にきた
野にも来た
花が咲く 花が咲く
どこに咲く
山に咲く 里に咲く
野にも咲く